

## 2011 国際森林年の実施状況

平成23年7月13日 林政審議会配付資料

## 国際森林年国内委員会名簿

# 15

- |                        |                                 |
|------------------------|---------------------------------|
| 赤池学(ユニバーサルデザイン総合研究所所長) | C. W. ニコル(C. W. ニコル・アフアの森財団理事長) |
| 天野礼子(作家)               | 多田欣一(岩手県住田町長)                   |
| 飯塚昌男(日本林業協会会長)         | 仁坂吉伸(和歌山県知事)                    |
| 出井伸之(美しい森林づくり全国推進会議代表) | 沼田早苗(写真家)                       |
| 井上篤博(セイホク株式会社代表取締役社長)  | 速水亨(速水林業代表取締役社長)                |
| 内山斉(日本新聞協会会長)          | 広瀬道貞(日本民間放送連盟会長)                |
| 大久保尚武(経団連自然保護協議会会長)    | 宝月岱造(日本森林学会会長)                  |
| 草野満代(フリーアナウンサー)        | 三村明夫(日本プロジェクト産業協議会会長)           |
| 坂本龍一(音楽家、モアトゥリーズ代表)    | 宮林茂幸(東京農業大学教授)                  |
| 佐々木毅(国土緑化推進機構理事長)      | 養老孟司(日本に健全な森をつくり直す委員会委員長)       |
|                        | (オブザーバー)                        |
|                        | 外務省、環境省、観光庁                     |

## (実績) 第1回国際森林年国内委員会

- ▶ 12月16日、篠原副大臣の出席を得て、第1回国際森林年国内委員会を開催。
- ▶ 佐々木毅座長をはじめ、広瀬道貞、出井伸之、C Wニコル、養老孟司、草野満代ほかの委員が出席。
- ▶ 国際森林年のテーマを「森を歩く」と決定。



## (実績) 民間企業等への説明会

- ▶ 12月17日、民間企業等約100人に対する説明会を開催。
- ▶ 林野庁長官より国際森林年の背景と取組の方針を説明。
- ▶ 出席者名簿とアンケートを配付し、将来のマッチングを支援。
- ▶ 3月2日にも第2回の説明会を開催し、企業や団体の情報交換を実施。



3月3日付け  
日本農業新聞

## (実績) 国際生物多様性年と国際森林年とのブリッジングセレモニー



2011・国際森林年

- ▶ 12月18日、石川県金沢市で国際的な橋渡しの式典を実施。
- ▶ 鹿野農林水産大臣、松本環境大臣、UNFFマッカールパイン事務局長、CBDジョグラフィ事務局長ほかが出席。
- ▶ 国内委員会より、飯塚昌男委員及び沼田早苗委員が参加。



▶ 5

## (実績) ロゴマーク使用の簡素化



2011・国際森林年

- ▶ ロゴマークの使用手続きは国連森林フォーラム (UNFF) へ英語でメールと申請書を送付する必要があった。
- ▶ 我が国ではUNFFとの合意により、フォレスト・サポーターズのウェブサイト上でロゴマークをダウンロードできる仕組みを構築。
- ▶ 4月12日現在、200の企業、NPO等が利用。



2011・国際森林年



▶ 7

## (実績) 国連森林フォーラム (UNFF) 閣僚級会合



2011・国際森林年

- ▶ 2月2日～3日、米国ニューヨークの国連本部において、UNFF閣僚級会合が開催。
- ▶ 我が国主催のサイドイベント(約20カ国、60名参加)等で緑化運動をはじめ国際森林年の取組を説明。
- ▶ 国際森林映画祭の受賞作品発表。



地球のために木を植える子ども達のイニシアティブのプレゼン風景

▶ 6

## (実績) 元旦の各新聞での露出

(この他、各地方紙でも特集記事の実績あり)



2011・国際森林年



住友林業による企業広告  
1月1日付け主要各紙

▶ 8



日本たばこによる広告記事  
1月1日付け毎日新聞



## (実績) ローソンによる国際森林年と緑の募金の呼びかけ

(※東北関東大震災後は震災募金へ変更)



- ▶ 国際森林年の幕開けを記念し、全国約1万店のローソングループ店頭でスヌーピーが国際森林年と緑の募金を呼びかけ。
- ▶ ローソン緑の募金の実績は、累計約30億円。
- ▶ 支援した森林整備活動は約2,300箇所。
- ▶ 植樹や間伐の手入れを行った本数は約1,425万本。



▶ 13

## (実績) オーストリアシンポジウム「森からのエネルギー創出」



- ▶ 2月14日(東京)、2月15日(札幌)、オーストリア大使館主催のシンポジウムが開催(来場者数は併せて約530名)。
- ▶ 森林技術、バイオマス技術、木質建材に関する講演に加え、出展オーストリア企業15社の製品・技術を紹介。
- ▶ シンポジウム後に個別商談会も開催。



▶ 15

## (実績) 住友林業による「サステナブルフォレストギャラリー2011」



- ▶ 1月15日～16日、住友林業は有楽町駅前で大規模型展示を利用した普及啓発イベントを開催。
- ▶ 15日の国際森林年記念ステージには鹿野大臣、市川社長、草野満代さんが出席し、木材利用の意義などについて説明。
- ▶ 来場者数は約5000名。



1月15日付け共同ニュース

▶ 14

## (実績) ライブドリアード2011



- ▶ 2月14日に木材会館(新木場)で開催された、パネルディスカッション、演劇、音楽を組み合わせた国際森林年記念ライブ。
- ▶ テーマは「木と共に暮らすライフ提案」。
- ▶ 参加者総数は324名。  
主演: 弥生さん  
主催: (社)創造再生研究所  
後援: 林野庁ほか



2月15日付け東京新聞

▶ 16

## (実績) 「美しい森林づくり」企業・NPO等交流フォーラム



2011 - 国際森林年

- ▶ 2月14日、国連大学において、田名部大臣政務官の出席により記念フォーラムを開催。
- ▶ 国連事務総長のビデオレター、大久保尚武経団連自然保護協会会長及びCWニコル氏の講演等。
- ▶ 「フォレスト・サポーターズ」及び「生物多様性民間参画パートナーシップ」が協働宣言に調印。



▶ 17

## (実績) 持続可能な森林経営の挑戦に関する国際セミナー



2011 - 国際森林年

- ▶ 3月8日～10日、三田共用会議所において、各国政府、国際機関、民間企業、NGO等から専門家を招へいし開催。
- ▶ 持続可能な森林経営のための政策手段について、国内外の取組を討議。
- ▶ 国連森林フォーラム(UNFF)活動の一部として、結果を報告。



▶ 19

## (実績) 東京マラソン2011への参加



2011 - 国際森林年

- ▶ 2月27日、農林水産省及び国土交通省等の職員約20名が、「国際森林年タスキ」を着用して東京マラソンに参加。
- ▶ キャプテンを観光庁の溝畑長官とし、スポーツ観光の振興を併せてアピール。
- ▶ NHK朝のニュースを含め一部メディアで露出。



2月25日の出陣式

▶ 18

## (実績) 国際森林年子ども大使 ミュージカル「葉っぱのフレディ」



2011 - 国際森林年

- ▶ 「お米大使」の小林幸子さん、「お魚大使」のさかなクんに続き、3月8日、「葉っぱのフレディ」の子役20名を国際森林年子ども大使に任命。
- ▶ ミュージカルは生命の尊さと循環をテーマにした作品であり、日野原重明先生の原案。
- ▶ 3月9日付け朝日新聞等で報道。



▶ 20

## (実績) 観光庁による「魅力ある日本のおみやげコンテスト」



- ▶ 外国の方々からみて魅力的なおみやげを選定することにより、我が国の地域ブランドを高めるねらいのコンテスト。
- ▶ 本年度に限り、国産材を活用した「国際森林年特別賞」を設定。
- ▶ 3月9日(水)、「葉っぱのフレディ」も参加し、羽田空港にて授賞式を開催。



Japan. Endless Discovery.



## (実施中) 国際森林年記念分収造林の実施



- ▶ 3月3日、全国の国有林野において国際森林年記念分収造林を実施することを各森林管理局へ通知
- ▶ 平成23年度から25年度までの3年間実施。
- ▶ これにより国民参加の森林づくりを促進。



通常の分収割合  
契約者7割、国3割

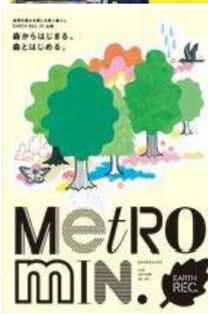


国際森林年記念分収造林  
契約者8割、国2割

## (実績) 雑誌・インターネットでの露出



- ▶ 雑誌「環境会議」、「日経エコロジー」、「メトロミニッツ」、「サライ」において、国際森林年や森林・林業に関する特集記事が掲載。
- ▶ 雑誌「ecomom」のウェブサイトでは、国際森林年特設ページが開設。



## (実績) TOUCH WOODケータイ



- ▶ 3月28日より、四万十ヒノキの間伐材をボディに利用した携帯電話が限定15,000台発売。
- ▶ 間伐材は一般社団法人「more trees」の提供。
- ▶ このプロモーション映像「森の木琴」がカンヌ国際広告祭で金賞を受賞。



※**moreTrees**®  
音楽家の坂本龍一氏が代表。  
日本において人工林の間伐促進を  
実践している環境団体。

(写真:NTTドコモ社)